

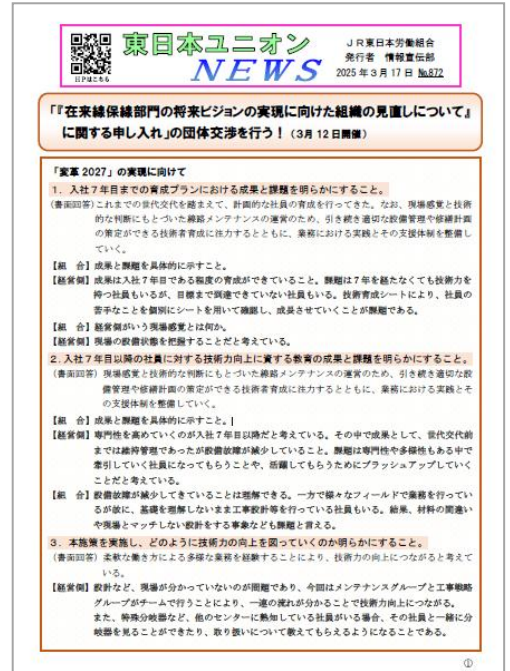


「在来線保線部門の将来ビジョンの実現に向けた組織の見直しについて」 第二次申し入れを行う！

東日本ユニオンは 2025 年3月 12 日に申第 18 号『在来線保線部門の将来ビジョンの実現に向けた組織の見直しについて』に関する申し入れ」の団体交渉を開催し、施策の目的や経営側の考え方などを明らかにしてきました。

組合員や社員から、今後のメンテナンス業務や工事戦略業務を計画推進チームとして融合することによる教育体制のあり方や、専門チーム化に伴う業務の引き継ぎ体制などに課題があるとの声が寄せられています。

施策の実施にあたっては、社員の「安全・健康・ゆとり」が担保されると共に、働きがいのある職場でなければなりません。東日本ユニオンは、3月 24 日、経営側に対して申し入れを提出しました。



【申し入れ項目】

1. 現場感覚を身に付け、設備管理を行える技術者育成のために、入社5年目までは工事担当業務を持たずに現場で基礎力を学ぶ体制を構築すること。
2. 「専門チーム」の業務を行う場合は職制に関わらず、通常の業務を引き継ぐ体制を構築すること。
3. 社員の「担務変更」は社員本人の家族状況や希望を尊重すること。
4. 「担務変更」の社員周知は「担務変更」する日の 10 日以上前に行うこと。

「安全・健康・ゆとり」を担保し 働きがいのある職場をつくりだそう！